

令和4年6月号

磯松



三島村立三島硫黄島学園
学校だより

「なんとかなりますよ」

校長 石岡秀久

四半世紀前のことですが、新規採用として鹿児島市のマンモス校（生徒数は1,000人越えてました。）の中学校へ赴任いたしました。当時、お世辞にも落ち着いている学校とはいえず、生徒指導事例にこと欠かない学校でした。私以外にも数学の男性教諭と音楽の男性教諭が新規採用として赴任いたしました。2人は、共に大学出たてのそれぞれ魅力的な先生でした。

音楽のM先生は、ピアノが専門の先生で楽譜を見ることなく、つらつらと楽曲を弾くことができ、ギターも大変上手でしたが、不思議なことに校歌だけは必ずと言っていいほどミスをするので、完璧でないところが愛されていたのかもしれません。

数学のT先生は、スリムで背も高く「今時の若者（当時）」という印象でした。

パソコンがさほど一般的でないときでも使いこなし、人当たりも良く、同僚から頼りにされ、何事もスマートにこなせる先生でした。

多感な中学生相手ですので、色々突発的なことや困難なことも多い教員生活でした。そんなときT先生と話をする「なんとかなりますよ。」と応えてくれました。「そうかな、大丈夫かな。」とおもっていても「なんとかなりますよ。」

と言われると「そうかもな。」と前向きになれました。

今年のキャッチフレーズも「いいこといおう」です。人を前向きにさせる言葉や勇気を与える言葉を児童生徒同士、プレゼントしてください。

<PTA奉仕作業・愛校作業>

～大好きな硫黄島学園を児童生徒・保護者の力できれいに～

6月10日（金）は、保護者の皆さんはPTA奉仕作業を、児童生徒の皆さんは愛校作業を行いました。地域の方々にも愛されて、日本一の学校になる硫黄島学園をみんなの力で精一杯きれいにしました。梅雨時期には草がどんどん生長します。放っておくと草原のようになってしまうので、皆さんの協力がとってもありがたかったです。地域の方々も学校周辺等の整備をいつもしてくださっているので、感謝の気持ちでいっぱいです。



インスタ
フォロー
してね



みしまっこ
日記も
よろしく

<硫黄島を満喫>～集団宿泊学習～

5月31日から三島村5・6年生4校合同の宿泊学習が行われ、硫黄島の防災やSDGsゲーム、カレー作りで仲間と協力することの大切さを学びました。普段と違い、たくさんの友達といろんな話ができたとです。（恋バナ？）花火や星空も子供たちの成長をきらきらさせました。



<平和の鐘を鳴らしたよ>～集合学習～

5・6年生と同じ日程で3・4年生は黒島で4校合同学習が行われました。大人数で体育をしたことが楽しかったと嬉しそうに話をしてくれました。大里たんけんで焼酎工場を学習し、平和記念公園では「これから平和に」と祈りました。



<あじさい読書週間>緑陰読書

6月6日（月）みんなで読書を楽しみました。代表の児童生徒がお薦めの本を紹介してくれました。また、ガジュマルの木陰で風を感じながら本の世界に浸っている皆さんは、とても幸せそうでした。



<国体出張授業>～ぐりぶーも来たよ～

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会に向けて「ゆめ～KIBAIYANSE～」ダンスを教えていただきました。妖精のぐりぶーも飛び入り参加で盛り上がりしました。2023年の大会が大成功するために、硫黄島学園もおもてなし隊としてダンスコンテスト・のぼり旗作りに協力していきます。



<期末テスト>～将来の夢のため～

後期生にとって大きな行事の1つといってもいい、期末テストが終わりました。テストに向けての勉強は大変だったかもしれませんが、将来の夢に向かって自分の力を知る大切なものです。結果にとらわれず、できなかったところをどうすればできるようになるかを考えるきっかけにしましょう。